

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年8月31日
明治大学の所属学部・研究科	農(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年8月30日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	マレーシア
留学先大学	マレーシア工科大学(日本語名) Universiti Teknologi Malaysia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	マレーシア語、中国語、英語 /英語
留学期間	2022年10月～2023年8月
留学先大学で在籍した学年	1,2,3,4年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):理学部 (現地言語での名称):Faculty of science <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:10月中旬～2月 2学期:4月～7月 3学期: ~ 4学期: ~
学生数	38,123
創立年	1972

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (リンギット)	日本円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	4786	143580 円	
食費	10000	300000 円	
図書費		円	
学用品費	100	3000 円	
携帯・インターネット費	500	15000 円	
現地交通費	1000	30000 円	大学は無料バス、普段の移動は Grab を使いました(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	300	9000 円	
医療費		円	
保険費	5000	150000 円	形態: 明治大学で申請する保険とビザ申請時に必要な安価保険
渡航旅費	4300	129000 円	成人式のための一時帰国含む。
ビザ申請費	400	12000 円	
雑費	1000	30000 円	
その他	8000	240000 円	旅行代
その他		円	
合計	35386	1061580 円	助成金除く

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 羽田空港	目的地: シンガポールチャンギ空港 経由地:
復路 出発地: シンガポールチャンギ空港	目的地: 羽田空港 経由地:
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: ANA 料金: 62000 円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:KLG Campus residence) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

協定校からすすめられた

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

値段の割に施設は割と整っており、フットサル、ジム、ビリヤード、卓球などができる。留学生寮なのでいろいろな国の人と友達になれる。共用のキッチンは汚く、自炊はしたくなかった。しかし、寮内や近くにレストランやカフェがあり、値段が安いので、結果自炊するより。出費を抑えられたと考えている。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:学内診療所)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

大使館やローカルの友達からの情報を集め、危険地域には近寄らないようにした。また、その危険地帯で、実際に車上荒らにあった。友達の携帯とパソコンが盗まれ、警察に通報した。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットはよくはないが、常につながる状態。大学内のインターネット接続は良好。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Money T Grobal というカードを使って、親に送金してもらった。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

日本書

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Biological Control and Environmental Conservation	
科目設置学部・研究科	Faculty of Science
履修期間	semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分、60分がそれぞれ1回
担当教授	.
授業内容	害虫のバイオコントロールについて
試験・課題など	課題あり、テスト 2 回、最終試験
感想を自由記入	<p>オンラインで他の教授を招いてウェビナーを生徒たちで開いたのが一番楽しかった。グループワークもあり。</p> <p>たまたま、先生が授業開始直前に今日はオンラインでやりますということがあったが、最後にはBBQを開いてくれたり、ある程度融通の利く先生で楽しかった。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Genomics and Proteomics	
科目設置学部・研究科	Faculty of Science
履修期間	semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分、60分がそれぞれ1回
担当教授	
授業内容	ゲノミクスとプロテオミクスについて、講義形式
試験・課題など	課題は少ないが、出たらきつい。テスト 2 回、最終試験
感想を自由記入	講義形式が多く、グループワークは 1 回しかなかったが、自分が興味がある分野だったので、勉強についていこうと頑張った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Techniques in Molecular Biology	
科目設置学部・研究科	Faculty of Science
履修期間	semester 1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分、60分がそれぞれ1回
担当教授	
授業内容	分子生物学の様々な手法の知識を深める
試験・課題など	課題は毎週出て、論文を読んでグループごとにまとめることが多かった。
感想を自由記入	かなり詳細な部分まで扱う、分子生物学を面白く、授業してくれた。おかげさまで今はこの分野が好きである。生徒同士で話し合う際にある程度知識がないとついていけないが、自主勉強と質問で何とかなる。学期の終わりには、グループごとにテーマを決めて、ブースを作り、分子生物学イベントを行った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
English Communication Skills			
科目設置学部・研究科	Faculty of Science		
履修期間	semester 1		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授			
授業内容	英語		
試験・課題など	毎回小テスト		
感想を自由記入	日本で文法をしっかり習ったものとしては、ものすごく簡単である。ただ、多くのマレーシアの1年生は文法の知識なしで英語をしゃべっており、スピーキングはできるが、文法ができない人がどのように成長していくのかを見るのがとても面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Enviromental Biotechnology			
科目設置学部・研究科	Faculty of Science		
履修期間	semester 2		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に120,60分がそれぞれ1回		
担当教授			
授業内容	今起きている環境問題を解決するための、バイオ燃料などのバイオテクノロジーを学ぶ		
試験・課題など	テスト2回、最終試験		
感想を自由記入	覚えることが多く、正直大変だった。グループワークが多く、発表の際は、知識不足でかなり苦戦した。友達の助けもあり、何とか単位取得した。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gene Expression	
科目設置学部・研究科	Faculty of Science
履修期間	semester 2
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120, 60 分がそれぞれ1回
担当教授	
授業内容	遺伝子制御
試験・課題など	テスト 2 回、最終試験
感想を自由記入	遺伝子制御を原核生物と真核生物に分けて、26 回にわたって学ぶので、かなり詳細な部分まで踏み込んだ。先生は、「ね、簡単でしょ」といつも言うが、全く簡単ではない。人によるが。私としては、とても興味のある分野だったので、日本から持ってきた本などを参考に勉強を頑張った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Plant Physiology (+Lab)	
科目設置学部・研究科	Faculty of Science
履修期間	semester 2
単位数	4 あ
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、実験(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120,60, 180(実験)分がそれぞれ1回
担当教授	
授業内容	植物生理学の講義と実験
試験・課題など	テスト 2 回、実技試験 1 回、最終試験
感想を自由記入	クラスでやったことを、そのまま次の週に実験で行うのはとても楽しかった。先生方は、生徒に声をかけるのが好きで、実験中も楽しめたとし、質問もしやすかった。クラスに留学生が一人で、急に「日本のサクラが何であの色なのかプレゼンしてよ」と言われ、授業内で急いで資料を作り、プレゼンした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Research Methodology	
科目設置学部・研究科	Faculty of Science
履修期間	semester 2
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式と課題(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	卒論の分野決めとイントロ、すでにある論文を読んで問題提起、実験方法、予想まで卒論を仕上げる。
試験・課題など	3週間ごとに論文の提出、最後に実験前卒論を提出、自分の研究についての7分間ビデオ
感想を自由記入	明治で3年から始まる研究を進めるうえで、大きなプラスになった。どのように論文を読み進めればよいか、卒論の書き方や注目すべき点などを教わった。明治だに帰ってきたときに、そのままそれに沿って研究を始めてもいいくらいに、卒論が出来上がったので、この授業は大満足している。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

海外での成績は、自分の能力を今後の進学先に示すうえで大事だと思います。また、現地の先生と仲良くなることはこれからの進路先で役に立つかもしれません。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFL の勉強
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	出願
留学開始年	1月～3月	結果
	4月～7月	ビザ申請
	8月～9月	滞在先の確保、出国
	10月～12月	semester 1
留学/帰国年	1月～3月	semester 1,最終試験
	4月～7月	学期休み、旅行、semester 2, 最終試験
	8月～9月	旅行、帰国
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

マレーシアは最安で留学に行ける一つの選択肢だと考えています。物価が安く、食費、滞在費も欧米圏と比べると、かなり安く抑えられます。日本からも近く、時差ボケはなく、成人式にも一時帰国して参加できました。

留学というと、アメリカやイギリスなどの英語圏がメジャーですが、留学で得られるものは語学力だけではありません。様々なバックグラウンドを持つ人と交流し、自分の視野を広げることができるでしょう。ラマダン期間には、日の出前にレストランで食べ、断食し、日の入りごろになったら一緒に礼拝所(モスク)に行き、無料で配布される飯を5, 6人で囲んで、大皿を平らげる。ラマダンが終了すると、友達の家に行って、数週間一緒にお祝いをする。そんな経験ができて、自分の思考回路が変わったのを実感しています。

生徒一人一人のバックグラウンドも違い、マレー系やインド系の人々が中国系の旧正月を一緒にお祝いしたりなどとても面白いです。

マレーシアは英語圏ではないですが、大学の授業は英語で行われ、友達と話すときもすべて英語です。第一言語が英語のマレーシア人もいますし、サウジアラビア、アルジェリアなどアラブ圏、ドイツ、フランスなどのヨーロッパ、オーストラリア、カナダ、中国からの留学生も大多数いて、英語を学ぶのにも適していると思います。

行きたい国の一つの選択肢になればと考えております！